

4

かたづけよう 身の回りのもの

教師用指導例

5 年 開隆堂版 p.19

めあて 整理・整とんができるようになるう。

【学習指導要領との関連】 内容C 快適な衣服と住まい  
(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。  
ア 住まい方に関心をもって、整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

1 課題を見つける

- 説明 1 前の時間では、「整理・整とんが必要なわけ」を学習しました。今日は実際に道具箱の中の物を分類して、物の置き場所を考えます。
- 発問 1 道具箱の中を整理・整とんします。まず何と何に分けますか。  
(指名し、ノート p.19「①調べよう」を確認する。)  
【必要な物】と【必要でない物】に分けますね。(板書する。)
- 発問 2 【必要でない物】はどのようにしたらよいですか。お隣さんと相談しましょう。  
(「処分する」「再使用する」……)
- 発問 3 整理・整とんのコツは何ですか。
- 指示 1 ノートで3つのコツが書いてあるところを指でおさえなさい。  
(3つを板書する。①同じ種類でまとめる。②仕切りを使って区切る。③よく使うものは手前へ。)
- 説明 2 このような手順で整理・整とんをしていきます。

2 課題を追究する

- 指示 2 机の中にある道具箱を出します。  
※ふた付きのボックスタイプや、引き出しタイプの道具箱など、学校で児童が使う物を想定する。
- 指示 3 道具箱の中に何が入っているか、中の物をすべて机に出して確認します。  
※たくさんの物を道具箱に詰め込んでいたことをおさえる。
- 指示 4 【必要な物】と【必要でない物】に分けてごらんください。  
※【分類表】(別紙 PDF①)を下に敷いて分類することもできます。
- 発問 4 【必要でない物】にはどんな物がありましたか。  
(短くなった鉛筆、小さくなった消しゴム、インクの切れたサインペン、紙ごみ……)  
※消しゴムなど、同じような物を無駄に買い足していないか、確認する。
- 発問 5 【必要でない物】はどのように処分したり、再使用したりするとよいですか。  
(短くなった鉛筆は、ホルダーを付ける、紙ごみは分別して出す……)  
※すぐに処分するのではなく、リユースしたり、資源として生かしたりする方法を考えさせる。  
▲教科書 p.28-29「3物を生かすくふうをしよう」
- 説明 3 学校の引き出しとして使いやすくするために、道具箱の仕切り方を工夫します。  
【仕切りの入った紙】(別紙 PDF②)の上に【必要な物】を置いてみて、置き場所を考えます。
- 指示 5 道具箱を整理・整とんのコツにしたがって、使いやすくしてごらんください。

- 説明 4 整理・整とんが終わったら、道具箱を使いやすくするために、どこをどうしたのか、なぜそうしたのかを発表してもらいます。  
※自由ノートに記入することができます。

3 討論する 4 異なる考えを認める

- 指示 6 それでは、黒板の前に出て発表してもらいます。「私はこのように整理・整とんしました。工夫したところは〇〇です。わけは〇〇だからです。」のように発表します。  
(・よく使う物を手前に置きました。取り出しやすくなるからです。  
・色鉛筆やサインペンなど、同じ種類の物をまとめました。  
・同じ大きさや形が同じ物をそろえて置きました。しまいやすくなるからです。  
・同じ色の物をまとめました。見た目がすっきりとして見えるからです。  
・コンパスやものさし、分度器など同じ場面で使う物をまとめました。  
取り出す手間が省けるからです。)
- 指示 7 友達の工夫について質問や感想、改善点がある人はいますか。立って意見を言います。  
意見が出されたら、発表した人は必ず立って答えます。  
※友達の工夫を聞いて気づいたことを、今後の整理・整とんや物の使い方に生かす。

5 まとめる

- 説明 5 使いやすく整理・整とんする工夫は、目的によってさまざまです。友達の工夫を参考にして、家庭でみんながよく使う場所の整理・整とんを実践してみましょう。
- 指示 8 ノートの19ページを開きます。整理した道具箱にシールを貼りなさい。  
終わったら自由ノートに感想を書きます。  
※シールを貼る前に、整理・整とんの手順を再度確認し、ノートに書かれている手順を読ませる。  
※感想が書けたら前に持ってこさせ、書いた内容に赤丸をつける。

①

必要な物	必要でない物

▲分類表 (PDF①)

②


▲仕切りの入った紙 (PDF②)

①

必要な物

必要でない物



## 8 しょうずに使おう お金と物

## 教師用指導例

5年 開隆堂版 p.33

めあて 目的に合わせた買い物ができるようにしよう。

【学習指導要領との関連】内容 D 身近な消費生活と環境

(1) 物や金銭の使い方と買物について、次の事項を指導する。

ア 物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えること。

イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

## 1 課題を見つける ……………

説明 1 前の時間では、「買い物の手順」を学習しました。今日は品物を選ぶときに必要なことを考えます。

発問 1 ノートを買に行くという計画を立てます。4冊のノートから1冊を選ぶとしたらどれを選びますか。

※実物を提示して、4冊のノートを紹介する。

ア リングノート

イ キャラクターノート

ウ 3冊セット

エ いつも使っているノート

※直感でいいので手を挙げさせ、見た目だけの情報では決められないことに気づかせる。

## 2 課題を追究する ……………

発問 2 見た目以外に、どんなことが分からないと決められませんか。

(「値段」、「ページ数」、「何に使うか」、「使いやすさ」……)

説明 2 値段から見てみます。

※子どもに予想させながら板書する。

ア 140円

イ 150円

ウ 200円

エ 180円

※再度どれを選ぶか聞き、これだけでは決められないことに気づかせる。

※値段と同様に、何に使うか、ページ数についても確認していく。

ア 140円 64ページ

イ 150円 80ページ

ウ 200円 1冊64ページ

エ 180円 64ページ

説明 3 (ノート p.33 【①調べよう】の内容に合わせて,) ノートを使う目的は、算数の学習に限定します。

説明 4

算数ノートとしての使いやすさを見るために、実際にノートを見てもらいます。見た後に、どのノートを買うのか、なぜそれを選んだのか、発表してもらいます。

※実際に手に取らせて、隣同士で自由に話し合わせる。

指示 1

家庭科楽習ノートの 33 ページを開きます。選んだノートの記号と選んだ理由が書けたら、先生のところに見せに来ます。

※書かせる前に、ノート p.33 【①調べよう】に書かれている計画メモの内容と、ノートの特徴を再度確認させる。

※書けたら前に持ってこさせ、書いた内容に赤丸をつけ、黒板前に並ばせて待たせておく。

## 3 討論する(発表) 4 異なる考えを認める……………

指示 2

それでは黒板の前に出て発表してもらいます。「○○のノートを選びました。○○○○だからです。」のように発表します。

(・アのノートを選びました。リングノートはノートが開きやすいからです。

・イのノートを選びました。表紙や中のノートにイラストが入っていて、可愛いからです。

・ウのノートを選びました。算数はたくさんノートを使うので、1冊あたりの値段が安いほうがよいからです。

・エのノートを選びました。紙質がよいし、方眼が入っていて計算しやすいと思ったからです。)

※例として、次のように教師の考えを示してもよい。

「先生はエのノートを選びました。算数の学習に使うという目的を考えると、エのノートは方眼になっていて、図やグラフが書きやすいからです。」

## 5 まとめる……………

説明 5

買い物の際に優先することは、使う目的や人の好みによってもさまざまです。どのノートを選ぶか、正解はありません。ただ、よりよい品物を買うために、値段や量、品質、機能、環境への配慮がされているかなど、情報をよく確かめましょう。

## 板書の例

	値段	ページ数	ノートを使う目的
ア	140円	64ページ	算数の学習
イ	150円	80ページ	
ウ	200円	1冊64ページ	
エ	180円	64ページ	

9

寒い季節を快適に

教師用指導例

5年 開隆堂版 p.35

めあて

あたたかい住まい方をくふうできるようになろう

【学習指導要領との関連】 内容C 快適な衣服と住まい  
(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。  
イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

1 課題を見つける

- 説明 1
- 前の時間では、「あたたかい着方のくふう」の学習をしました。今日は【明るく、あたたかく住まうくふう】を考えます。
- 指示 1
- 家庭科楽習ノート35ページを開きます。
- 発問 1
- 寒くなってきました。昼間、家の中で暖かくすごすためにどんな工夫をしていますか。
- 指示 2
- ノート【①調べよう】の表（家で行っているくふう）に書きます。**①**と書いてから、工夫を書きましょう。上のイラスト[明るくあたたかい住まい方]を見てもかまいません。  
(ストーブをたく、あたたかい飲み物を飲む、日光を取り入れる、窓を開けてかん気をする……)  
※発表させる。
- 発問 2
- 夜はあたたかくすごすためにどんな工夫をしていますか。
- 指示 3
- 同じ表に書きます。**②**と書いてから、工夫を書きましょう。  
(こたつに入る、あたたかい食事をする、部屋が冷えないように、カーテンを閉める…)※発表させる。

2 課題を追究する

- 説明 2
- 先ほど暖かく過ごすための工夫で【かん気】が出てきました。ガスや石油、灯油を使う暖房器具の場合は、かん気が必要です。
- 発問 3
- かん気をするのは、どんな理由でしょう。お隣さんと相談します。  
(酸素が減って苦しくなるから、風邪を予防できるから、部屋の空気が汚くなるから、新鮮な空気に入れかえた方が勉強もはかどるから…)
- 説明 3
- かん気をする一番の目的は、一酸化炭素中毒を防ぐためです。  
※一酸化炭素中毒…換気をしないで暖房器具（室内の酸素を消費するもの）を使用すると、酸素不足で不完全燃焼が起き、一酸化炭素が発生する。一酸化炭素はとても毒性が強い気体で、吸い込むと頭痛や吐き気、めまいなどを引き起こし、最悪の場合死にいたる危険性がある。
- 説明 4
- 今から学校で暖かく過ごす工夫を考えます。家とは違うところがたくさんあります。前の時間で学習した【あたたかい着方をくふうしよう】も参考に考えます。
- 指示 4
- ノート【①調べよう】の表（学校で行っているくふう）に書きます。
- 指示 5
- まず【明るく住まうくふう】が書けたら持ってきます。  
※持って来た子から板書させる。表は簡単に板書しておく。

3 討論する 4 異なる考えを認める

- 発問 4
- よりエネルギーを節約して、あたたかく明るく過ごすくふうは何ですか。表に書いて**③**と書いてから、工夫を書きます。
- 指示 6
- それでは黒板の前で発表してもらいます。
- 指示 7
- 何か質問や付け足し、反対意見がある人いますか。立って意見を言います。質問、反対意見が出されたら、書いた人は必ず立って答えます。答えられない時は、「調べます」とか「答えられる人はいますか」と聞いてみます。  
(・ストーブをつける前に暖かい服装をしてくるように声かけすると良いと思います。  
・カーテンを閉めると、室内の温度が下がりにくいという意見に反対です。日が出ているうちはカーテンを開けて日光を取り入れたほうが、教室が明るくあたたかくなります。  
・学校の電気をLEDに変えて明るくするのは、とても良い意見だと思います。でもお金がないからすぐにはできないと思います。  
・窓をきれいにふくと、より日光が入りやすくなり、教室が明るくなると思います。  
・あたたかい給食の意見に付け加えて、冬はあたたかい牛乳を出してほしいです。  
・重ね着をするなど、あたたかい服装をする意見に加え、冬用に長袖の体操服があるとよいと思います。)

5 まとめる

- 指示 8
- ノート35ページの【②生かそう】。家庭でできる寒い季節を快適に過ごす工夫を書きましょう。  
※発表させる。
- 説明 5
- 家や学校で明るく住まうためには、いろいろな工夫がありました。自然の力を利用して、快適に過ごすくふうを家庭でも実践していきましょう。
- 指示 9
- ノートの【自由ノート】に感想を書きます。  
※【自由ノート】に書かせる前に、資料【エコ暖房であたたかく】を読んで確認する。

板書の例

	家で行っているくふう	学校で行っているくふう
明るく住まうくふう	<b>①</b> 日光を取り入れる。 <b>②</b> 照明をつける。	暗い場所では照明をつける。
あたたかく住まうくふう	<b>③</b> 重ね着をする。 <b>④</b> エアコンをつける。	<b>⑤</b> 日光を取り入れて、教室をあたたかくする。
かん気のしかた	<b>⑥</b> 窓を開ける。 <b>⑦</b> かん気せんを回す。	窓を開ける。